

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2013年 3月 3日 聖日礼拝

---

**使徒の働き 連講 (1)**

**「父の約束」**

使徒 1章1-8節

**竿代 照夫 牧師**



# 聖書朗読

## 新約聖書

### 使徒の働き 1章 1-8節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp208/ 第三版の聖書はp227

- 1 テオピロよ。私は前の書で、イエスが行い始め、教え始められたすべてのことについて書き、
- 2 お選びになった使徒たちに聖霊によって命じてから、天に上げられた日のことにまで及びました。
- 3 イエスは苦しみを受けた後、四十日の間、彼らに現れて、神の国のことを語り、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された。

- 4 彼らといっしょにいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。「エルサレムを離れないで、わたしから聞いた
- 5 ヨハネは水でバプテスマを授けたが、もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです。」
- 6 そこで、彼らは、いっしょに集まったとき、イエスにこう尋ねた。「主よ。今こそ、イスラエルのために国を再興してくださるのですか。」

- 7 イエスは言われた。「いつとか、どんなときとかいうことは、あなたがたは知らなくてもよいのです。それは、父がご自分の権威をもってお定めになっています。
- 8 しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」

# 説教

使徒の働き 連講（1）

## 「父の約束」

使徒の働き

1章1-8節

竿代 照夫 牧師



主テキスト:

「エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。  
ヨハネは水でバプテスマを授けたが、もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです。」

(使徒1:4-5)

# 「使徒の働き」について

## 1. 著者：ルカ（ルカ伝の続きとして）

パウロの良き助け手として、その第二次伝道旅行以来同道した。

61年、ローマで囚われていたパウロが釈放されて間もなく記された。

## 2. 宛先：テオピロ

キリスト教の理解者であり、（多分）ローマの高官。この執筆のスポンサーであったと思われる。



### 3. 執筆目的:

ガリラヤの片隅で始まったキリスト教が、世界的宗教に発展した理由は何かを、歴史的経過を辿りつつ明らかにすること。

### 4. 執筆の手法:

- 教会の誕生(30年)から、パウロの幽囚(59—61)までの主な出来事を、主イエスの宣教命令(1:8)の実現という骨格で描く。
- 内容は、著者自身の目撃記事、信頼できる人々とのリサーチに基づく。

- 当時のローマ政治指導者の名前を細かく記すことによって、現代の私たちが年代を特定することに貢献

## 5. 私たちにとっての意義:

新約聖書の書簡部分で教えられている救いや聖化が、初代教会の聖徒たちにどのように経験されていたかを示す。

## 6. 鍵の聖句:

1:8「エルサレム、ユダヤ全国、サマリヤ、地の果てまで」

## A. テオピロへの献辞(1-3節)

### 1. テオピロという人物

- ・ローマ高官
- ・キリスト教の理解者
- ・ルカのスポンサー(ルカ1:1-4)

### 2. ルカ伝の続きとしての「使徒の働き」

- ・ルカ伝: イエスの伝道活動、十字架、復活、昇天
- ・復活の確かさの証し: 四十日間、多くのグループに多くの場所で顕現

・パウロも言及：

「キリストは、…三日目によみがえられ、ケパに現われ、それから十二弟子に現われ…その後、五百人以上の兄弟たちに同時に現われました。その中の大多数の者は今なお生き残っていますが、すでに眠った者もいくらかいます。その後、キリストはヤコブに現われ、それから使徒たち全部に現われました。そして、最後に、月足らずで生まれた者と同様な私にも、現われてくださいました。」

(1コリント15:3-8

=キリストの十字架の25年後の記事)

## B. 聖霊の賦与の約束(4-5節)

### 1. エルサレムに留まりなさい

#### ・留まることの大切さ:

「終わりの日に、主の家の山は、山々の頂に堅く立ち、丘々よりもそびえ立ち、国々の民はそこに流れて来る。多くの異邦の民が来て言う。『さあ、主の山、ヤコブの神の家に上ろう。主はご自分の道を、私たちに教えてくださる。私たちはその小道を歩もう。』それは、シオンからみおしえが出、エルサレムから主のことばが出るからだ。」 (ミカ4:1-2)

- 留まることの困難さ:

経済的に困難、また敵対的環境である故に

- 活動よりも祈り:

「さあ、わたしは、わたしの父の約束して下さったものをあなたがたに送ります。あなたがたは、いと高き所から力を着せられるまでは、都にとどまっていなさい。」

(ルカ24:49)

## 2. 父の約束を待て

- ・旧約の予言：イザヤ、エゼキエル、ヨエルなど
- ・主イエスが「父の賜物として」約束

「父はもうひとりの助け主をあなたがたに  
お与えに」 (ヨハネ14:16)

「父がわたしの名によってお遣わしになる  
聖霊」 (14:26)

「わたしが父のもとから遣わす助け主、  
すなわち父から出る真理の御霊」 (15:26)

### 3. 聖霊によって浸される

・「聖霊によってバプタイズされる」:

部分的にではなく完全に浸していただき、  
その影響を受ける

・バプテスマのヨハネの予言:

「私は、あなたがたが悔い改めるために、水のバプテスマを授けていますが、私のあとから来られるは、…あなたがたに聖霊と火とのバプテスマをお授けになります。手に箕を持っておられ、ご自分の脱穀場をすみずみまできよめられます。麦を倉に納め、殻を消えない火で焼き尽くされます。」 (マタイ3:11-12)

悔い改めより深い罪と汚れを焼き尽くすきよめの業



- ・「聖霊のバプテスマ」は信じたときか、  
その後の経験か？

①新生のときに与えられるという立場：

「一つの御霊によってバプテスマを受け」  
(1コリント12:13)

「イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受ける」  
(使徒2:38)

## ②クリスチャンとなった後の第二の転機として 受けるという立場

「主イエスの御名によってバプテスマを受けていただけで、聖霊がまだだれにも下っておられなかった」グループは、  
「(ペテロとヨハネの)ふたりが彼らの上に手を置くと、聖霊を受けた。」

(使徒8:15-17)

- 大切なことは、聖霊が齎す変化

終わりに:

「もう間もなく」という言葉の慰めと励まし

- 遠い将来ではなく
- しかし、心の備えの無い状況ではなく